

広島市植物公園

見どころ案内

ハナノキ(カエデ科)

ハナノキは日本固有の落葉高木で、東海地方(長野・岐阜・愛知)にのみ分布する珍しい樹木です。ハナカエデとも呼ばれ、展葉に先立って咲く紅色の花は花飾りを連想させます。今年は果実がたくさんついています。近くでは、アカシア(ミモザ)のなかまも咲いています。

アカボシシャクナゲ(ツツジ科)

台湾原産のシャクナゲで、早咲きです。花卉の赤いブロッチ(模様)が特徴的。ツツジのなかまもいろいろ咲いています。

ツバキ・カメリア(ツバキ科)

ユキツバキや洋種ツバキ(カメリア)の園芸品種がまだまだ咲いています。そろそろツバキの花も終盤です。お見逃しなく。

ゼラニウム展

~4月18日(展示温室)
多彩な花色と葉の模様が美しいゼラニウムや様々な香りがある香りゼラニウムを展示しています。29日に展示入替を行い、ペラルゴニウムのなかまを多く展示しています。

ムスカリロード(ユリ科)

香りの小径ではムスカリ、ハナニラ、モクレンなどが見ごろです。今年は、ムスカリの球根を植え直しました。通路の両側が紫色の絨毯になっています。

祝!大温室

リニューアルオープン

日本一のバオバブ、植物を間近で見られる空中デッキ、巨大コンニャクの並木など館内を一新しました。くだものと暮らしのコーナーでは、マンゴウとロブスタコーヒーの花が咲いています。コーヒーの栽培種には主にロブスタ種とアラビカ種があり、アラビカ種の方が味は良いですが、病気に弱い特徴があります。

サトザクラ(バラ科)

ソメイヨシノは終わりましたが、サトザクラ(サクラの園芸品種)はこれから見ごろ。花びらの数が多いものや花色が緑色のものなど様々な品種があります。足元にはコバノミツバツツジも咲いていますので、そのコントラストを楽しんでみては。さくらマップもご覧ください。

チューリップ(ユリ科)

ハナナ(アブラナ科)

25品種1300球のチューリップが花盛りです。ポピーやパンジーで彩った春花壇もきれいです。

おし花美術作品展

~5月6日(展示資料館)

四季折々の植物を素材として、季節ごとの情景を描いたおし花作品を展示します。1階ロビーでは、植物公園42年のあゆみ展も開催中です。

